

第382回三木市議会定例会 市長 開会あいさつ

令和6年6月3日

議会の開会に当たりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

木々の緑が美しい季節となり、特産「山田錦」の田植えが最盛期を迎えるなか、次第に三木の姿も夏模様へと変わりつつある本日、第382回市議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては、公私ご多用のなか、ご参集をいただき、ここに開会の運びに至りましたことに対し、深く感謝を申し上げます。

本日は、朝から毎年6月の恒例として、三木建設業協会の皆様と市の協働により、市内の道路などに捨てられたゴミの収集活動「クリーン作戦」を実施しました。三木を愛する皆様の心温まる活動に対しまして、この場をお借りして、厚くお礼を申し上げます。

さて、今月は環境月間です。地球温暖化をはじめとする環境問題の解決には、一人ひとりが自らの生活・行動を見直すことが大切です。2050年カーボンニュートラルの実現、また、2030年度に温室効果ガスを2013年度から46パーセント削減することをめざし、国

を挙げて脱炭素社会への取組が進められています。国連のグテーレス事務総長は、「地球温暖化の時代は終わり、地球沸騰化の時代が到来した」との声明を出しています。今や、世界各国は力を合わせ、温室効果ガス削減の一層の推進に取り組んでいくべきと強く感じており、本市も取組を進めてまいります。

本日から、省エネ家電の購入に係る費用の補助についての申請受付を開始しています。省エネ性能の高いエアコン、テレビ、冷蔵庫に買い替えた方に対し、購入費用の一部、最大2万円を補助することで、地球温暖化の原因となる温室効果ガスの削減を図るとともに、長期化する物価高騰による市民生活への影響を軽減しようとするものです。

また、今年度には、地球温暖化対策実行計画 区域施策編を策定します。市全体の温室効果ガス排出量の削減に向けて、すでに公共施設のみを対象として策定している事務事業編に加え、市民や事業者を含めた三木市全域において排出する温室効果ガスを削減するための施策や目標を定めることで、実効性の高い計画とします。

4月1日に、本市は「デコ活宣言」を行いました。「デコ活」とは、脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動で、市としても推進するものです。私たち一人ひとりが地球温暖化対策に取り組むことで、持続可能な社会を実現させましょう。

本市では、「誇りをもって暮らせるまち三木 ～チーム三木による協働のまちづくり～」をまちの将来像に掲げ、令和2年度から令和11年度までを計画期間とする三木市総合計画を策定し、まちづくりを進めています。三木市総合計画の基本計画については、社会情勢の変化等に対応できるよう、策定後5年で必要に応じて見直すこととしております。基本計画の見直しに当たり、先月31日に「三木市総合計画策定審議会」に諮問したところです。三木市総合計画の策定後、市民生活に大きな影響を与えたコロナ禍、進展するデジタル化など、社会情勢は刻々と変化しています。変化する社会情勢にしっかりと対応し、まちづくりを進めるため、その羅針盤となる総合計画基本計画の見直しに取り組んでまいります。

さらに、今年度は、「第3期三木市教育大綱」を策定します。この大綱は、令和7年度から5年間における本市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱であり、本市の教育の方向性を示すものです。市長と教育委員会が協議、調整を行う場である「総合教育会議」において協議し、策定するものです。先月23日に「総合教育会議」を開催し、「第3期三木市教育大綱」の策定に向けた協議を始めたところです。市長と教育委員会がめざす方向性等を共有しながら、子どもたちを中心に据えた、三木市ならではの特色

ある取組が推進できるよう、協議を進めてまいります。我が子の教育は三木で受けさせたいと思っていただけるよう、教育のまちの推進に向け、「第3期三木市教育大綱」の策定に取り組んでまいります。

最後になりましたが、このたびの市議会定例会におきましては、条例の一部改正が2件、補正予算1件、その他3件の併せて6件の提案を予定いたしております。

また、後日、工事請負契約の締結1件、人事案件1件の提案を予定しております。

議員の皆さまにおかれましては、十分なるご審議をいただき、適切なるご決定を賜りますようお願いを申し上げ、開会のあいさつといたします。